

JIS

炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質— 強度区分を規定した平座金

JIS B 1061 : 2020

(ISO 898-3 : 2018)

(JFRI/JSA)

令和 2 年 11 月 20 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	横浜国立大学
(委員)	秋山 進	株式会社デンソー (公益社団法人自動車技術会)
	安部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	市川 直樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	伊藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥野 麻衣子	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
	鎌田 実	東京大学
	木村 一弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木村 たま代	主婦連合会
	佐伯 誠治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	寺家 克昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	千葉 光一	関西学院大学
	寺澤 富雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈良 広一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	久田 真	東北大学
	福田 泰和	一般財団法人日本規格協会
	星川 安之	公益財団法人共用品推進機構
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線 医学総合研究所
	山田 陽滋	名古屋大学
	和迺 健二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 2.11.20

官 報 掲 載 日：令和 2.11.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ねじ研究協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3436-4988)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	2
4 記号	2
5 座金の強度区分の表し方, 及び座金の強度区分とねじ部品の強度区分との組合せ	3
6 材料	3
7 機械的及び物理的性質	4
8 試験方法	5
8.1 硬さ試験	5
8.2 脱炭試験	8
8.3 浸炭試験	10
8.4 再焼戻し試験	11
9 表示	11
9.1 一般	11
9.2 製品の表示	11
9.3 包装の表示	12
附属書 A (規定) 強度区分 380HV の座金の延性試験	13
解 説	15

まえがき

この規格は、産業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ねじ研究協会（JFRI）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質— 強度区分を規定した平座金

Mechanical properties of fasteners made of carbon steel and alloy steel— Flat washers with specified property classes

序文

この規格は、2018年に第1版として発行されたISO 898-3を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

この規格は、JIS B 1051及びJIS B 1052-2で規定する強度区分のボルト、小ねじ、植込みボルト及びナットによるねじ締結体に用いる平座金の機械的及び物理的性質について規定する。

注記1 これらのタイプの座金は、おねじ自身ではめ合うめねじ山を成形するおねじなど、他の締結用ねじ部品にも使用することが可能である。

この規格の要求事項に適合する座金は、10～35℃の環境温度範囲で評価するので、高温及び／又は低温では規定の機械的及び物理的性質を満足しないことがある。

注記2 この規格で規定するおねじ部品は、-50℃～+150℃の温度範囲で使用する。-50℃より低い温度及び+150℃を超えて+300℃までの温度範囲については、個々の適用状況に対して適切な選択を行うために、締結用部品の材料の専門家から必要に応じて助言を得ることが可能である。

この規格は、厚さ0.2 mm～12 mmの炭素鋼又は合金鋼で作られた、次の組込み用及び非組込み用平座金にも適用する。

- 平座金（ギザ付き、リブ付き又は面取りの有無を問わない。）
- 角座金
- 角穴座金
- 成形プレート

次の特性の要求事項は、規定しない。

- 耐食性
- 溶接性

注記3 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 898-3:2018, Mechanical properties of fasteners made of carbon steel and alloy steel—Part 3: Flat washers with specified property classes (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“一致している”